

明日の種をまく

～校長たより～

R3. 1. 6(水)

令和2年度 第3学期 始業式

みなさん、新年あけましておめでとうございます。新しい年が始まりました。今年一年が丑のようにどっしりと構えて、地道に物事に取り組める一年になることを願います。

私は毎年、元旦には静波海岸に行き、初日の出を見にいきますが、今年に関しては、家の近くの秋葉山の山頂から密を避けて、初日を見ることにしました。みなさんの中にも、元旦の初日を見た人がいたのではないかと思います。

今年の初日は少し雲がかかっていたため、予定時間より少し遅れましたが、今年一年が素晴らしい年になることを予感させる、そんな初日で清々しい気持ちになりました。榛中生を始め、榛中にかかわる全ての人が健康で明るく笑顔で過ごせる一年になることを御祈念しました。



さて、今日から3学期が始まります。授業日数は50日間となります。2学期終業式で、みなさんをお願いしましたが、今年一年をこんな年にするといった、新年の決意をもって今日の日を迎えていることと思います。榛原中学校の学校教育目標である『こころざしを育てる』ための第一歩である、今年の決意を常に意識して、達成をめざし、地道に努力を積み上げるそんな3学期にしてほしいと思います。このことが今学期のロードである『飛躍』につながるはずです。がんばりましょう。

1年生は新入生の手本となる2年生になるために、力を蓄える期間となります。4月から入学してくる後輩たちから信頼され、目標にされる先輩になるためにも、まずは日々の生活の当たり前レベルを今まで以上に高め、授業や生徒会活動、部活動で2年生を支え、学校を動かしていくといった自覚をもって諸活動に取り組んでほしいと思います。

2年生は学校の顔として榛中を常にリードすることができるようになるための準備期間です。「3年生のようになりたい」そんな尊敬や信頼の念を抱かせるような行動がいつでも、どんなときでもとれるような最上級生めざして、当たり前レベルを今まで以上に挙げ、充実した3学期にしてほしいと思います。

3年生は、いよいよ卒業に向けて最後のがんばりにより、まずは自分自身の進路先を決定する時です。さらに、自分自身で切り拓いた進路先でも、夢や希望に満ち、新たにがんばる決意を持ち、中学校生活3年間と義務教育9年間の総まとめをして胸を張って卒業できるそんな3学期に

なってほしいと思います。

私は毎年箱根駅伝を見ることを楽しみにしています。毎年多くの感動を生み出す、箱根ですが、今年もたくさんの感動やドラマがありました。あと僅かの所で総合優勝を逃した、創価大学の健闘は素晴らしかった。2年連続、4回目の箱根出場。約218kのうち、残り3キロで逆転されたけれど、優勝候補にはまったく挙げられていなかったチームの快進撃には目を見張るものがありました。

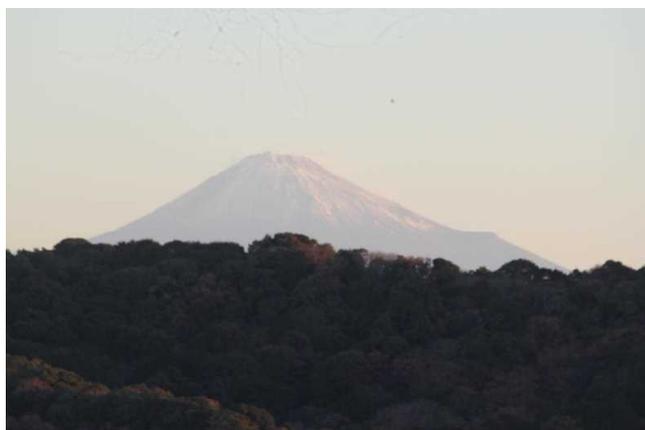
9区で襷を渡したときのタイム差が3分19秒差。距離は約1.1キロ。普通で考えれば、逆転はあり得ない差。その差を克服して、見事逆転優勝をした駒沢大学。こちらは箱根常連校の強豪校。最後まで諦めないで優勝という目標目指して地道に努力することの大切さを教えられた気がしました。

このように目標達成のために日々厳しい練習を積み上げ努力し力を本番に発揮させるようにひたむきに頑張る姿に多くの感動が生まれるのだと思います。

今年の箱根の区間賞インタビューでよく聴いたフレーズが「コロナ禍でこの大会を開催してくれた方々、大会関係者の方々に感謝します」という言葉です。大会を開催してもらえたことに対する感謝の心を持ち合わせるからこそ、各区間の最も早い記録を打ち出せる選手になるのだろうと感じました。

この3学期もコロナについては、決して余談を許さない状況になることは間違いありません。東京を含めた1都3県に緊急事態宣言が発出されました。静岡県はもちろん、牧之原市も感染状況の拡大の危機に直面しています。昨年3月の緊急事態時よりさらに悪化した状況ですし、休校にせざるを得ない可能性も高くなっているのが現状です。

そんな中だからこそ、50日間と短い期間を、一日一日を大切にして、飛躍のロードでは、感謝の心を持ち、多くの感動を巻き起こしてくれることを期待して、始業式の話とします。



戸塚坂から見える 富士山



戸塚坂から見える 榛中